

情報セキュリティ基本方針

穂高電子株式会社（以下、当社）は、電子計測器・コンピュータ関連機器、観測画像関連機器、試験機、特注機器、並びに付帯するサービスをお客様に提供する商社として、お客様からの信頼と社会貢献を果たす上で、情報資産の保護を最重要課題の一つと位置付けます。

情報資産の機密性、完全性、可用性を確保し、事業継続性と競争力を維持するため、以下の基本方針を定め、全社的に情報セキュリティ対策を推進します。

1. 目的と適用範囲

本方針は、当社の情報資産をあらゆる脅威から保護し、適切なセキュリティ対策を講じることを目的とします。当社のすべての役員、従業員、および事業活動に関わるすべての関係者に適用され、管理するすべての情報資産が対象となります。

2. 情報セキュリティ体制

情報セキュリティ委員会を設置し、情報セキュリティに関する社内ルールを整備・運用します。

3. 情報資産の適切な管理と法令遵守

当社は、保有する情報資産を適切に分類し、重要度に応じたアクセス管理、保管、廃棄等のセキュリティ対策を講じます。特に、お客様情報、取引情報、技術情報等の機密性の高い情報については厳格に管理します。また、個人情報保護法、不正アクセス禁止法、著作権法、その他当社の事業に関連する法令等を遵守します。

4. 人的・技術的セキュリティ対策

すべての役員および従業員に対し、情報セキュリティに関する定期的な教育・訓練を実施し、意識向上を図ります。不正アクセス、マルウェア感染、情報漏洩等を防止するため、ファイアウォール、ウイルス対策ソフトウェア、脆弱性管理、データのバックアップ、ログ監視等の物理的・技術的対策を適切に導入・運用します。

5. 委託先管理とインシデント対応

情報資産の処理を外部に委託する場合は、委託先が適切なセキュリティ水準を維持していることを確認し、機密保持契約を締結します。万が一、情報セキュリティインシデントが発生した際には、迅速かつ的確に対応し、被害の最小化と再発防止に努めます。

6. 見直しと継続的改善

当社は、本方針を取り巻く環境の変化や技術動向、法令改正に対応するため、定期的に本方針を見直し、情報セキュリティの有効性向上に努めます。

2026年7月17日

穂高電子株式会社
代表取締役 石田 宏志